

資料 3

第 2 回仁淀川地域アクションプランフォローアップ会議資料

平成 26 年 2 月 4 日

平成 26 年度仁淀川地域アクション プランの追加、拡充、削除項目等

地域アクションプランの追加・削除項目について

地域アクションプランの動向

H25年度 236 → H26年度 245 (+9)

地 域	H25年度	H26年度		
	AP数 H25.12時点	追 加	削 除	AP数
安 芸	30	6	▲2 (統合)	34
物部川	24	0	0	24
高知市	32	0	0	32
嶺 北	28	0	0	28
仁淀川	38	0	▲2 (統合)	36
高 幡	42	5	▲1	46
幡 多	42	4	▲1	45
合 計	236	15	▲6	245

平成26年度 仁淀川地域アクションプラン（案） 目対比表

【仁淀川地域】

No.	現在(平成25年度)	地域					
		土佐市	いの町	仁淀川町	佐川町	日高村	
		12	12	10	12	8	15
1	仁淀川流域茶の生産から販売までの一貫体制の強化による販売額の向上		●	●	●	●	●
2	地域を支える基幹品目の振興			●	●	●	●
3	兼用作物の産地拡大による所得の向上			●	●	●	●
4	力強い高糖度トマト産地の確立			●	●		●
5	JAとさし開芸産地ビジョン実現に向けた取組の推進と販売体制の強化	●					
6	加工用ワサビの加工の促進	●					
7	土佐文旦の加工	●					
8	生姜の加工(生姜出荷施設整備事業)	●					
9	いの地域における開芸産地の維持・発展		●				
10	集落営農の推進		●				
11	本川きじの販路の拡大と顧客ニーズに対応した商品開発		●				
12	農業振興ネットワークの構築による地域の活性化						●
13	仁淀川流域における木材産業の振興	●	●	●	●	●	●
14	特用林産物の販売拡大	●	●	●	●	●	●
15	うるめのブランド化	●					
16	「土佐和紙」の販売促進と保存・継承	●	●				
17	高岡日曜市の活性化などによる地域商業の振興	●					
18	いの町商店街(仁淀川七色商店街)の活性化		●				
19	地域産品を活用した冷菓等の製造販売		●				
20	鯛フードブランドを中心とした農山村6次産業化の推進			●			
21	売れる商品づくりによる地産外商の推進				●		
22	企業進出による雇用の増と地元企業の活性化						●
23	地元企業の活性化(芋菓子加工販売拡大事業)						●
24	企業進出による雇用の増(ペット用木質系排泄物処理剤製造施設整備事業)						●
25	「奇跡の清流仁淀川」流域の広域観光推進	●	●	●	●	●	●
26	仁淀川流域を中心としたジオパークへの取組による交流人口の拡大			●	●	●	●
27	集客施設の整備による新居地区の活性化	●					
28	体験型観光・食観光の推進	●					
29	体験型観光の推進と地域資源を活かした特産品づくり		●				
30	山岳資源を活用した交流人口の拡大		●				
31	観光情報の一元化とおもてなし観光の推進			●			
32	歴史的風致維持向上計画の推進				●		
33	佐川町における知的体験型観光の推進				●		
34	佐川町取蔵資料を活用した地域の活性化				●		
35	越知町の総合的な観光推進と地場産品の販売促進					●	
36	直販市を核とした観光資源の整備による交流人口の増と地域の活性化						●
37	屋形船を活用した拠点施設の整備による交流人口の増と地域の活性化						●
38	国宝を活用した観光資源の整備による交流人口の増と地域の活性化						●

No.	改定案(平成26年度)	地域					
		土佐市	いの町	仁淀川町	佐川町	日高村	
		12	12	10	10	8	15
1	仁淀川流域茶の生産から販売までの一貫体制の強化による販売額の向上	●	●	●	●	●	
2	地域を支える基幹品目の振興		●	●	●	●	
3	兼用作物の産地拡大による所得の向上		●	●	●	●	
4	力強い高糖度トマト産地の確立		●	●	●	●	
5	JAとさし開芸産地ビジョン実現に向けた取組の推進と販売体制の強化	●					
6	加工用ワサビの加工の促進	●					
7	土佐文旦の加工	●					
8	生姜の加工(生姜出荷施設整備事業)	●					
9	いの地域における開芸産地の維持・発展	●					
10	集落営農の推進	●					
11	本川きじの販路の拡大と顧客ニーズに対応した商品開発	●					
12	農業振興ネットワークの構築による地域の活性化						●
13	仁淀川流域における木材産業の振興	●	●	●	●	●	●
14	特用林産物の販売拡大	●	●	●	●	●	●
15	うるめのブランド化	●					
16	「土佐和紙」の販売促進と保存・継承	●	●				
17	集客施設を核にした高岡地区の活性化	●					
18	いの町商店街(仁淀川七色商店街)の活性化		●				
19	地域産品を活用した冷菓等の製造販売		●				
20	鯛フードブランドを中心とした農山村6次産業化の推進			●			
21	売れる商品づくりによる地産外商の推進				●		
22	企業進出による雇用の増と地元企業の活性化						●
23	地元企業の活性化(芋菓子加工販売拡大事業)						●
24	企業進出による雇用の増(ペット用木質系排泄物処理剤製造施設整備事業)						●
25	直販市の機能強化(生産・出荷の拡大及び観光情報発信等)による地域の活性化						●
26	「奇跡の清流仁淀川」流域の広域観光推進	●	●	●	●	●	●
27	仁淀川流域を中心としたジオパークへの取組による交流人口の拡大			●	●	●	●
28	集客施設の整備による新居地区の活性化	●					
29	体験型観光・食観光の推進	●					
30	体験型観光の推進と地域資源を活かした特産品づくり		●				
31	山岳資源を活用した交流人口の拡大		●				
32	観光情報の一元化とおもてなし観光の推進			●			
33	歴史的風致維持向上計画の推進				●		
34	越知町の総合的な観光推進と地場産品の販売促進					●	
35	屋形船を活用した拠点施設の整備による交流人口の増と地域の活性化						●
36	国宝を活用した観光資源の整備による交流人口の増と地域の活性化						●

名称変更

拡充

名称変更

統合

仁淀川地域アクションプランの追加・削除・拡充等（予定項目）

■その他(拡充、統合)

NO.	アクションプラン名	見直しする内容
1	<p>No. 21 売れる商品づくりによる地産外商の推進（佐川町）</p> <p>【実施主体】佐川町、JAコスモス、佐川町商工会、企画本舗さかわ屋、地元酒造会社、地元乳業者、地元加工業者、黒岩じるし、地元酪農家 など</p>	<p>【拡充】平成 21 年度から「さかわの地乳」のブランド化や地乳を使った加工品の商品化に重点を置いて進めてきたが、新たに佐川町の農産物を活用した加工品づくりにも取り組むこととし、プランの内容を拡充する。</p>
2	<p>No. 32 歴史的風致維持向上計画の推進(佐川町)</p> <p>【実施主体】佐川町</p> <p>No. 33 佐川町における知的体験型観光の推進（佐川町）</p> <p>【実施主体】佐川町</p> <p>No. 34 佐川町収蔵資料を活用した地域の活性化（佐川町）</p> <p>【実施主体】佐川町</p>	<p>【統合】平成 21・22 年度に、国庫補助事業である「歴史的環境形成総合支援事業」を活用し、佐川文庫庫舎（旧青山文庫）の上町地区への移築や、景観を損なっている建物を取り壊して小公園の整備を行うなど、古い町並みを活用した観光資源の整備に着手した。</p> <p>平成 24 年度には、国庫補助事業である「街並み環境整備事業」を活用し、牧野富太郎博士の生家跡に「牧野富太郎ふるさと館」を整備、さらに、平成 25 年度には、旧酒蔵商家の浜口家住宅をリニューアルして、観光客のお立ち寄り処やさかわ観光協会の活動拠点となる「浜口邸」がオープンした。</p> <p>現在、藩政時代に家臣の子息の学びの場であった「名教館」を移築、改修する工事の施工中であり、年度末には完成の予定となっている。</p> <p>このように、古い町並みの残る佐川町上町地区でのハード整備が進んできたことから、個別の地域アクションプランとして位置付けしていたものを「歴史的風致維持向上計画の推進」に統合して、NPO 法人佐川くろがねの会による町並みガイドや、佐川町の歴史や文化を学ぶ場としての名教館の活用など、ハードとソフトが一体となった観光振興の取組を進める。</p>

修正項目(案)

【仁淀川地域】

項目	事業の概要	事業主体	第1期計画(H21~23)の取組の総括等		主な内容
			総括	課題	
21 売れる商品づくりによる地産外商の推進 《佐川町》	佐川町において、地元民間企業の商品の販売促進や、一次産品を使った特長のある商品づくりにより、地産外商を推進し、外貨の獲得を目指す。	・佐川町 ・JAコスモス ・佐川町商工会 ・企画本舗さかわ屋 ・地元酒造会社 ・地元乳業者 ・地元加工業者 ・黒岩じりし ・地元酪農家 など	・地元産品による売れる商品づくり(H21~H23) ◆平成21年度から酪農家を含めた農商工連携組織である地乳プロジェクト会を設置し、地元産の牛乳を使った商品づくりの取組を進めた。 平成22年度には、「さかわの地乳」のブランド化や地乳を使った加工品シリーズの商品化を図り、そのPR・販売促進に取り組んだ。 平成23年度には、地元の自主的な活動が活発化し、生乳出荷も増加し、酪農家の所得も上がってきた。また、地乳加工品も増え、加工業者の所得向上や地域への経済波及効果も見込まれる。 ◆県内量販店との販売取組も進み、今後の展開によっては、生産者・加工業者の所得が更に向上し、地域への経済波及効果が見込まれる。	・「さかわの地乳」シリーズ商品の管理、「地乳」商標管理を含めた組織の確立と体制の強化 ・酪農家への直接収入化となる取組の実施 ・「さかわの地乳」の牛乳、加工品等の販売ルートの確立	◆製乳施設整備 ◆地乳加工施設整備 ◆加工品生産及び販売促進体制づくり
修正前					



【仁淀川地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果		主な内容
			総括	課題	
21 売れる商品づくりによる地産外商の推進 《佐川町》	佐川町において、地元民間企業の商品の販売促進や、一次産品を使った特長のある商品づくりにより、地産外商を推進し、外貨の獲得を目指す。	・佐川町 ・JAコスモス ・佐川町商工会 ・企画本舗さかわ屋 ・地元酒造会社 ・地元乳業者 ・地元加工業者 ・黒岩じりし ・地元酪農家 など	・地元産品による売れる商品づくり(H21~H25) ◆平成21年度から酪農家を含めた農商工連携組織である地乳プロジェクト会を設置し、地元産の牛乳を使った商品づくりの取組を進めた。 平成22年度には、「さかわの地乳」のブランド化や地乳を使った加工品シリーズの商品化を図り、そのPR・販売促進に取り組んだ。 平成23年度には、地元の自主的な活動が活発化し、生乳出荷も増加し、酪農家の所得も上がってきた。 ・平成24年度には、県内量販店との販売取組も進み、販促イベントも同時行った。 今後の展開によっては、生産者・加工業者の所得が更に向上し、地域への経済波及効果が見込まれる。	・「さかわの地乳」シリーズ商品の管理、「地乳」商標管理を含めた組織の確立と体制の強化 ・酪農家への直接収入化となる取組の実施 ・「さかわの地乳」の牛乳、加工品等の販売ルートの確立	◆製乳施設整備 ◆地乳加工施設整備 ◆加工品生産及び販売促進体制づくり ◆地元農産物等を使った加工品の開発販売
修正後					

第2期計画					指標及び目標	
H24	H25	H26	H27	H28以降	指標	目標値(H27)
					生乳出荷量の拡大 (H21:240t) (H22:260t)	480t
製乳施設整備	製乳施設の整備					
地乳加工施設整備	各加工業者の加工施設の整備					
加工品生産及び販売促進体制づくり	地乳ブランドのための製乳及び加工品の販売促進活動による消費拡大					
販促管理・商標管理等の組織の構築						



第2期計画					指標及び目標	
H24	H25	H26	H27	H28以降	指標	目標値(H27)
					生乳出荷量の拡大 (H21:240t) (H22:260t)	480t
製乳施設整備	製乳施設の整備					
地乳加工施設整備	各加工業者の加工施設の整備					
加工品生産及び販売促進体制づくり	地乳ブランドのための製乳及び加工品の販売促進活動による消費拡大					
販促管理・商標管理等の組織の構築						
					地元農産物等を使った加工品の開発販売	
					地元農産物を使った商品の開発・販売	

第2期計画					指標及び目標	
H24	H25	H26	H27	H28以降	指標	目標値(H27)
<p>一体的な歴史的風致の形成</p> <p>浜口邸の整備</p> <p>牧野富太郎生家の復元整備</p> <p>歴史的風致地区へのJR客車移設</p> <p>牧野公園の整備</p> <p>風致地区の標識整備</p> <p>佐川町歴史的風致維持向上計画協議会における歴史的風致維持向上施設の審議、提言等</p> <p>佐川町物産・集客ツールの検討</p> <p>佐川町物産・観光振興組織の構築</p> <p>まちの駅を中心とした風致地区の観光活性化事業の実施</p>					<p>歴史的風致地区への入込客数</p>	<p>5,000人</p>
<p>知的体験型観光の集客拡大のための条件整備</p> <p>知的体験型観光のメニューづくり、施設活用方法の検討</p> <p>名教館の移設・整備</p> <p>牧野公園花見棟・売店棟の整備</p> <p>知的体験型観光の管理運営組織の構築</p> <p>知的体験型観光メニューの実施</p>					<p>知的体験施設への入込客数</p>	<p>5,000人</p>
<p>佐川の偉人の取蔵資料の多面的な活用</p> <p>施設整備及び運営管理方法等の検討</p> <p>佐川町偉人資料館の整備</p> <p>取蔵資料活用方法の検討、活用メニューの実施など</p> <p>運営管理組織の構築</p>					<p>資料館への入込客数</p>	<p>5,000人</p>



第2期計画					指標及び目標	
H24	H25	H26	H27	H28以降	指標	目標値(H27)
<p>一体的な歴史的風致の形成</p> <p>浜口邸の整備</p> <p>牧野富太郎生家の復元整備</p> <p>歴史的風致地区へのJR客車移設</p> <p>牧野公園の整備</p> <p>風致地区の標識整備</p> <p>佐川町歴史的風致維持向上計画協議会における歴史的風致維持向上施設の審議、提言等</p> <p>佐川町物産・集客ツールの検討</p> <p>まちの駅を中心とした風致地区の観光活性化事業の実施</p> <p>名教館の移設・整備</p> <p>牧野公園花見棟・売店棟の整備</p> <p>知的体験型観光メニューの実施</p> <p>佐川町の偉人の取蔵資料活用のための施設整備及び運営管理方法等の検討</p> <p>取蔵資料活用方法の検討、活用メニューの実施など</p>					<p>歴史的風致地区への入込客数</p>	<p>10,000人</p>

修正項目(案)


【仁淀川地域】

項目	事業の概要	事業主体	第1期計画(H21～23)の取組の総括等		主な内容
			総括	課題	
17 高岡日曜市の活性化などによる地域商業の振興 【土佐市】	サンシャイン高岡跡地に観光案内機能や野菜等の直販所などを整備し、テナントミックスの「にぎわいのまち」をつくることによって来街者の増加を図り、地域商業の振興につなげる。	・土佐市商店街活性化推進協議会	・基本計画の策定(H23) ◆集客拠点施設の整備に向け、商工会及び農協等で構成される土佐市商店街活性化推進協議会を設置し、運営等について協議し計画策定に取り組んだ。	・安定的な運営のため、他店舗(スーパー等)との差別化	◆高岡商店街への来街者を増加させる仕組みづくり
修正前					




【仁淀川地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
17 集客施設を核にした高岡地区の活性化 【土佐市】	サンシャイン高岡跡地に観光案内機能や野菜等の直販所などを整備し、テナントミックスの「にぎわいのまち」をつくることによって来街者の増加を図り、地域商業の振興につなげる。	・土佐市商店街活性化推進協議会	・基本計画の策定(H23) ◆集客拠点施設の整備に向け、商工会及び農協等で構成される土佐市商店街活性化推進協議会を設置し、運営等について協議し計画策定に取り組んだ。 ◆高岡商店街集客施設「ドラゴン広場」オープン(H25.3未プレ、H25.4正式オープン)	・集客施設の安定的な運営	◆高岡商店街への来街者を増加させる仕組みづくり
修正後					

第2期計画					指標及び目標		
H24	H25	H26	H27	H28以降	指標	目標値(H27)	
高岡商店街への来街者を増加させる仕組みづくり						施設での販売額	1.1億円
集客施設の整備、オープン		集客施設の安定した運営					
観光案内、情報発信							



第2期計画					指標及び目標		
H24	H25	H26	H27	H28以降	指標	目標値(H27)	
高岡商店街への来街者を増加させる仕組みづくり						施設直販市での販売額	79,000千円
集客施設の整備、オープン		集客施設の安定した運営					
観光案内、情報発信							

修正項目(案)

【仁淀川地域】

項目	事業の概要	事業主体	第1期計画(H21~23)の取組の総括等		主な内容
			総括	課題	
25 「奇跡の清流仁淀川」流域の広域観光推進 《仁淀川地域全域》	仁淀川流域の多様な自然や生活文化等の地域資源を基にして旅行商品化を進め、交流人口の拡大を図る。 また、全国屈指の水質を誇る仁淀川をブランドとして観光PRに活用するとともに、地域産品に仁淀川ロゴマークを用いて販売促進を図るなど、観光と他産業を組み合わせた観光産業化を推進する。	・仁淀川地域観光協議会 ・いの町観光協会 ・越知町観光協会 ・土佐市 ・いの町 ・仁淀川町 ・佐川町 ・越知町 ・日高村			◆「奇跡の清流仁淀川」ブランドを活かした観光・物販情報の発信 ◆観光客の誘致 ◆観光資源の旅行商品化 ◆物産品開発と販売促進 ◆地域コーディネート組織の整備
修正前					



【仁淀川地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果		主な内容
			総括	課題	
26 「奇跡の清流仁淀川」流域の広域観光推進 《仁淀川地域全域》	仁淀川流域の多様な自然や生活文化等の地域資源を基にして旅行商品化を進め、交流人口の拡大を図る。 また、全国屈指の水質を誇る仁淀川をブランドとして観光PRに活用するとともに、地域産品に仁淀川ロゴマークを用いて販売促進を図るなど、観光と他産業を組み合わせた観光産業化を推進する。	・仁淀川地域観光協議会 ・いの町観光協会 ・越知町観光協会 ・さかわ観光協会 ・土佐市 ・いの町 ・仁淀川町 ・佐川町 ・越知町 ・日高村	<p>「奇跡の清流仁淀川」ブランドを活かした広域観光の推進(H22~)</p> <p>◆広域観光を推進する母体となる仁淀川地域観光協議会を設立(H22)</p> <p>◆仁淀川地域観光協議会の設立以降、旅行商品の企画と旅行会社への売り込みによるツアー造成は、飛躍的に実績数を伸ばしている。</p> <p>◆また、屋形船の運航(日高村)や、百歳でのパーベキューサークル(いの町)など新たな体験メニューも開始された。</p> <p>◆主要観光施設への入込客数も前年比で増加しているほか、力ヌーやラフティングの参加者数、ツアー造成の実績数なども顕著に増加している。</p> <p>〇ツアーの横行 H23:30ツアーで663人 H24:110ツアーで2,477人</p>	<p>・市町村や観光団体の連携の醸成</p> <p>・県販ふるさと雇用事業終了後の運営財源の確保</p> <p>・ツアー造成で取り上げてもらえる地域内の観光資源を掘り起こし、継続的な誘客へつなげる</p>	<p>◆「奇跡の清流仁淀川」ブランドを活かした観光・物販情報の発信</p> <p>◆観光客の誘致</p> <p>◆観光資源の旅行商品化</p> <p>◆物産品開発と販売促進</p> <p>◆仁淀川地域観光協議会の安定した運営に向けた取組</p>
修正後					

第2期計画					指標及び目標	
H24	H25	H26	H27	H28以降	指標	目標値(H27)
					仁淀川地域観光協議会関連のツアー客数	730人 (年10%アップ)
					公共関連宿泊施設での宿泊者数	56,000人
					主要観光施設の入込数	140,000人
					観光客の誘致	
					観光関係調査の実施	
					観光資源の旅行商品化	
					物産品開発と販売促進	
					地域コーディネートの整備	
					法人化及び観光圏整備事業導入の検討・事業計画の策定	
					観光圏整備事業の申請	
					組織強化	



第2期計画					指標及び目標	
H24	H25	H26	H27	H28以降	指標	目標値(H27)
					仁淀川地域観光協議会関連のツアー客数	730人 (年10%アップ)
					公共関連宿泊施設での宿泊者数	56,000人
					主要観光施設の入込数	140,000人
					観光客の誘致	
					観光関係調査の実施	
					観光資源の旅行商品化	
					物産品開発と販売促進	
					地域コーディネートの整備	
					法人化及び観光圏整備事業導入の検討・事業計画の策定	
					観光圏整備事業の申請	
					組織強化	
					仁淀川地域観光協議会の安定した運営に向けた取組	
					運営財源の確保及び組織体制の検討	
					安定した運営の実施	

修正項目(案)

【仁淀川地域】

項目	事業の概要	事業主体	第1期計画(H21~23)の取組の総括等		主な内容
			総括	課題	
<p>27 集客施設の整備による新居地区の活性化 《土佐市》</p> <p style="text-align: center;">修正前</p>	<p>土佐市の新たな地域振興の拠点、地域情報発信基地として「南風の駅」(仮称)を整備し、交流人口の拡大と地域の活性化を目指す。</p>	<p>・(仮称)「企業組合 土佐の夜明け」を予定</p>	<p>・体験型観光及び食観光の推進(H21~23) ◆地域資源を活用した観光商品づくりに取り組む中で、具体的な動きが出始めた。</p>	<p>・施設整備の内容や運営方法、体制等の検討</p>	<p>◆規格外の農産物等を使ったレストランの設置</p> <p>◆仁淀川及び新居海岸等を活用した観光メニューの案内及び情報発信</p>



【仁淀川地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
<p>28 集客施設の整備による新居地区の活性化 《土佐市》</p> <p style="text-align: center;">修正後</p>	<p>土佐市の新たな地域振興の拠点、地域情報発信基地として「観光交流センター」(仮称)を整備し、交流人口の拡大と地域の活性化を目指す。</p>	<p>・(仮称)「企業組合 土佐の夜明け」を予定</p>	<p>・体験型観光及び食観光の推進(H21~23) ◆地域資源を活用した観光商品づくりに取り組む中で、具体的な動きが出始めた。</p> <p>・新居地区への新たな集客施設の整備の検討(H24~25) ◆防災機能を備えた複合施設として整備する検討が進んだ。</p>	<p>・施設整備の内容や運営方法、体制等の検討</p>	<p>◆規格外の農産物等を使ったレストランの設置</p> <p>◆仁淀川及び新居海岸等を活用した観光メニューの案内及び情報発信</p>

第2期計画					指標及び目標	
H24	H25	H26	H27	H28以降	指標	目標値(H27)
規格外の農産物等を使ったレストランの設置						
「南風の駅」(仮称)整備及び運営方法の検討	「南風の駅」(仮称)オープン	レストランの安定した運営				
仁淀川及び新居海岸等を活用した観光メニューの案内及び情報発信						
観光案内機能についての検討	「南風の駅」(仮称)内での観光案内及び情報発信 など					



第2期計画					指標及び目標	
H24	H25	H26	H27	H28以降	指標	目標値(H27)
規格外の農産物等を使ったレストランの設置						
「観光交流センター」(仮称)整備及び運営方法の検討			「観光交流センター」(仮称)オープン	「観光交流センター」の安定した運営		
仁淀川及び新居海岸等を活用した観光メニューの案内及び情報発信						
観光案内機能についての検討			「観光交流センター」(仮称)内での観光案内及び情報発信 など			

第2期計画					指標及び目標	
H24	H25	H26	H27	H28以降	指標	目標値(H27)
観光施設と連携した体験型観光の推進					本川地区の公共施設利用者数 (H22:67,600人)	71,000人 (5%アップ)
県内・県外(瀬戸内圏)への売り込み・課題の検討		商品の聞き上げと商品の多様化				
木の香温泉を拠点とした体験観光の検討		体験観光の試行	体験観光の商品化			
新たな資源を活用した体験メニューの検討と商品化(ダム・冬期資源)					本川地区の公共施設利用者数 (H22:67,600人)	71,000人 (5%アップ)
新たに活用できる資源の検討	新たな体験メニューの検討	体験メニューの試行	体験メニューの商品化			
インストラクターの養成						
集客に向けての観光施設の検討と整備					本川地区の公共施設利用者数 (H22:67,600人)	71,000人 (5%アップ)
施設利用者等の調査と検証	施設整備に係る実施計画と設計		施設の整備			
施設への集客の計画						



第2期計画					指標及び目標	
H24	H25	H26	H27	H28以降	指標	目標値(H27)
観光施設と連携した体験型観光の推進					本川地区の公共施設利用者数 (H22:67,600人)	71,000人 (5%アップ)
県内・県外(瀬戸内圏)への売り込み・課題の検討		商品の聞き上げと商品の多様化				
木の香温泉を拠点とした体験観光の検討		体験観光の試行	体験観光の商品化			
新たな資源を活用した体験メニューの検討と商品化(ダム・冬期資源)					本川地区の公共施設利用者数 (H22:67,600人)	71,000人 (5%アップ)
新たに活用できる資源の検討	新たな体験メニューの検討	体験メニューの試行	体験メニューの商品化			
インストラクターの養成						
集客に向けての観光施設の検討と整備					本川地区の公共施設利用者数 (H22:67,600人)	71,000人 (5%アップ)
施設利用者等の調査と検証		施設の整備				
施設への集客の計画						
		施設整備に係る実施計画と設計				

修正項目(案)




【仁淀川地域】

項目	事業の概要	事業主体	第1期計画(H21~23)の取組の総括等		主な内容
			総括	課題	
31 観光情報の一元化と おもてなし観光の推進 《仁淀川町》	仁淀川町において、情報発信の強化や観光情報ネットワークの構築などによって、観光情報の充実を図り、滞在型観光の振興につなげる。	・仁淀川町内の観光関連団体	<ul style="list-style-type: none"> ・観光情報ネットワークの構築(H21~23) ・おもてなし活動の実施(H21~23) ◆情報発信力の強化や新しい観光団体、既存団体のブラッシュアップ、食観光への取組を強化してきた結果、着実に基礎力が増してきた。 また、ICT事業やインターンシップ事業、各種アドバイザーの活用などにより地域内外の交流が進み、地域住民が仁淀川町の観光資源とその活用に本格的に取り組むようになってきており、その活動が内面から充実してきた。その結果、平成22年度には「仁淀川町の観光を考える会」が発足し、観光資源の磨きあげ、ガイド力のアップ、着地型観光づくりやその販売手法の確立に向けて、組織的に活動が行えるようになってきた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・観光情報発信の強化による効果的なPRの検討 ・ガイド養成活動の強化、仁淀川町の観光ガイドの内容調査とその整理、ツアーづくりと実践 ・情報基盤の改善、既存観光施設の運営、観光案内板等の不足、地域産品の不足、観光団体の高齢化 	<ul style="list-style-type: none"> ◆観光情報の一元化 ◆観光ガイドの養成 ◆おもてなし観光の推進
修正前					






【仁淀川地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
32 観光情報の一元化と おもてなし観光の推進 《仁淀川町》	仁淀川町において、情報発信の強化や観光情報ネットワークの構築などによって、観光情報の充実を図り、滞在型観光の振興につなげる。	・仁淀川町内の観光関連団体 ・仁淀川町	<ul style="list-style-type: none"> ・情報発信基盤の整備 ・観光情報ネットワークの構築 ・おもてなし活動の実施 ◆町内の観光情報発信基盤は整備できなかったものの、主要観光施設のHPが整備され、情報発信力が一定強化された。 ◆ガイド養成研修や観光資源調査、各種アドバイザーの招聘、モニターツアーの実施、インターンシップ事業等の活用により、お金を取れるガイドが誕生し、町内で着地型観光の必要性への理解や地域内外の交流が進んだ。地域住民が自分たちの手で観光産品を作ろう、ガイドを養成しようと、「仁淀川町の観光を考える会」を立ち上げた。今後地域の民間団体を結集するリーダー的な団体へなっていくことが期待される。 ◆既存宿泊施設のリニューアルも行われ、受け入れ体制の強化が図られた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・町内の観光振興に対する、戦略的なグランドデザインの作成 ・各観光情報窓口の一本化とさらなる観光情報発信力の強化及びより効果的なPRの検討 ・「仁淀川町の観光を考える会」の今後の運営・体制 ・観光ガイド養成活動の強化、ガイド内容の調査とその整理 ・ターゲットを絞った着地型観光ツアーの商品化、リポーターにつなげる観光振興への取組 ・既存観光施設の運営、基盤整備(観光案内板等の不足、既存施設の老朽化)、観光団体の高齢化 ・グリーンツーリズムが収益に繋がっておらず、地域産品の販売が弱い 	<ul style="list-style-type: none"> ◆観光情報の一元化 ◆観光ガイドの養成 ◆おもてなし観光の推進
修正後					

第2期計画				H28以降	指標及び目標	
H24	H25	H26	H27		指標	目標値(H27)
					ガイド養成人数 実施ツアー数	20人 50ツアー
観光情報の一元化 コーディネーターによる効果的なPRとプロモーション活動の展開・既存施設等の有効活用と機能充実			仁淀川町観光協会(仮称)の設立と運営			
						
観光ガイドの養成 観光資源の発掘と観光素材の整理とガイド要員の増員活動の実施						
						
おもてなし観光の推進 仁淀川町独自の滞在型観光ビジネスの展開(ツアー商品の確立、仁淀川町の観光団体等の情報ネットワークの強化)						
観光案内板の設置、トイレ等の改修などの実施						
地場産品開発の実施(仁淀川町のお土産品、仁淀川町の食メニューなどの開発・販売)						
観光団体等の相互サポート体制づくり						



第2期計画				H28以降	指標及び目標	
H24	H25	H26	H27		指標	目標値(H27)
					ガイド養成人数 実施ツアー数	20人 50ツアー
観光情報の一元化 コーディネーターによる効果的なPRとプロモーション活動の展開・既存施設等の有効活用と機能充実			仁淀川町観光協会(仮称)の設立と運営			
						
観光ガイドの養成 観光資源の発掘と観光素材の整理とガイド要員の増員活動の実施						
						
おもてなし観光の推進 仁淀川町独自の滞在型観光ビジネスの展開(ツアー商品の確立、仁淀川町の観光団体等の情報ネットワークの強化)						
観光案内板の設置、既存施設の改修を含めた老朽化対策等の実施						
地場産品開発の実施(仁淀川町のお土産品、仁淀川町の食メニューなどの開発・販売)						
観光団体等の相互サポート体制づくり						

修正項目(案)

【仁淀川地域】

項目	事業の概要	事業主体	第1期計画(H21~23)の取組の総括等		主な内容
			総括	課題	
36 直販市を核とした観光資源の整備による交流人口の増と地域の活性化 《日高村》 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">修正前</div>	直販市「さんさん市」を拠点として整備し、周辺の観光資源と連携した活用を図ることで、日下川調整池周辺での観光振興につなげる。	・日高村	・交流人口の拡大のための条件整備(H21~23) ◆平成21年度に産業振興アドバイザーにより日高村の観光資源活用調査事業を実施し、エリアごとの活用案を取りまとめた。その後、ボランティアガイド組織の立上げやガイド育成、モニターツアーの実施等、具体的な取組を進めてきたところ、日下川調整池周辺地域において、日高村の食も含めた観光客の集客を図る地域の観光情報発信拠点が必要となった。	・地域の農産物・農産加工品販売所の観光情報発信拠点としての機能充実	◆直販市及び周辺の観光資源の整備



【仁淀川地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
25 直販市の機能強化(生産・出荷の拡大及び観光情報発信等)による地域の活性化 《日高村》 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">修正後</div>	直販市「さんさん市」を拠点として整備し、周辺の観光資源と連携した活用を図ることで、日下川調整池周辺での観光振興につなげる。	・日高村	・交流人口の拡大のための条件整備(H21~24) ・施設の整備(H25~) ◆平成21年度に産業振興アドバイザーにより日高村の観光資源活用調査事業を実施し、エリアごとの活用案を取りまとめた。その後、ボランティアガイド組織の立上げやガイド育成、モニターツアーの実施等、具体的な取組を進めてきた。	・地域の農産物・農産加工品販売所としての運営体制等の検討、観光情報発信拠点としての機能充実	◆直販市の機能強化及び観光情報の発信

第2期計画					指標及び目標		
H24	H25	H26	H27	H28以降	指標	目標値(H27)	
直販市及び周辺の観光資源の整備					→	体験型観光での入込客数 (H22:7,834人)	23,500人
観光情報拠点の整備		観光情報拠点の完成及び稼働					
観光情報パンフレットの作成及び啓発							



第2期計画					指標及び目標		
H24	H25	H26	H27	H28以降	指標	目標値(H27)	
直販市の機能強化及び観光情報の発信					→	施設での販売額等 (H23:59,126千円)	103,200千円
集客施設の整備、オープン		集客施設の安定した運営					
観光情報パンフレットの作成及び啓発		観光案内、情報発信					

